ベンチャー白書2016　電子版

ベンチャー白書2016　電子版とは？

日本におけるベンチャーの動向が鳥瞰できます。
20年間以上にわたり継続して実施している「ベンチャー投資動向調査」や関係各所への
ヒアリングを通じて、ベンチャー投資等の幅広い動向を読み解きます。

✓ ベンチャーキャピタルによる投資のトレンドは？
✓ ベンチャー投資ファンドのパフォーマンスは？
✓IPOとM&Aの状況は？

大量のデータを分析した豊富な図や表により、
ベンチャー業界の今をわかりやすく解説しています。

ベンチャー白書に掲載されているデータや解説は、長年にわたり政府自治体をはじめ、ベンチャーキャピタル、大学・研究機関に利用されてきました。
また、ベンチャーとの協業を模索している大手・中堅企業担当者様にも大いに活用されています。

VEC
Venture Enterprise Center
ベンチャー白書2016
ベンチャービジネスに関する年次報告
電子版
一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

どんなデータが載っているの？

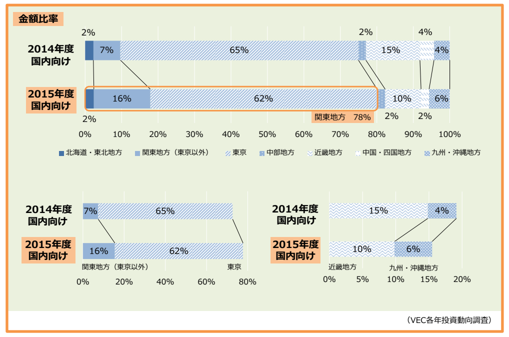
一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンターがベンチャーキャピタルを対象にして実施しているベンチャー投資動向調査の結果をとりまとめて掲載しています。

どんな解説が載っているの？

ベンチャー投資動向調査やヒアリング調査の結果を基に、トレンドや展望について分析した解説記事を掲載しています。

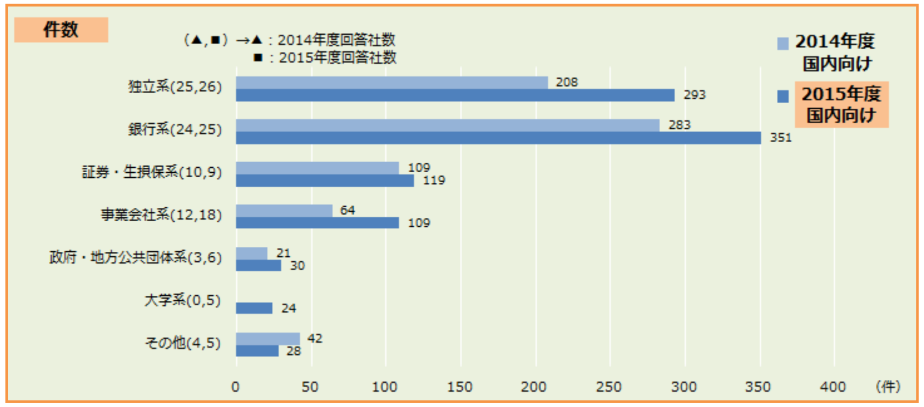
ベンチャー白書2016電子版に掲載している解説記事の一例

投資先地域の推移
各地で展開されている「地方創生」への取り組みが、ベンチャー投資へどのように影響を与えているかを分析。

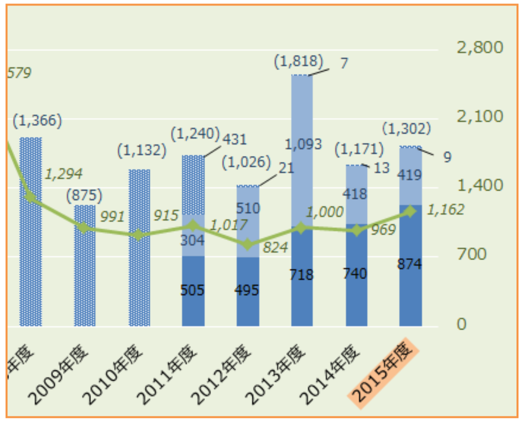


（VEC各年投資動向調査）

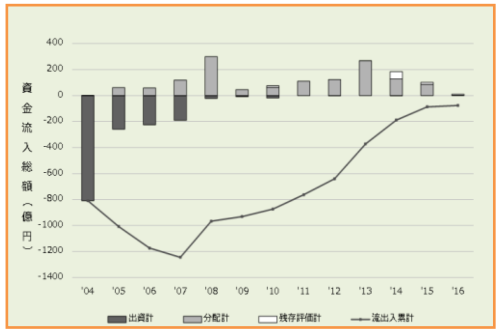
出資母体別にみた国内向け投資動向
ベンチャーキャピタルを「事業会社系」「大学系」等にグルーピングし、それぞれの投資行動の特色を分析。



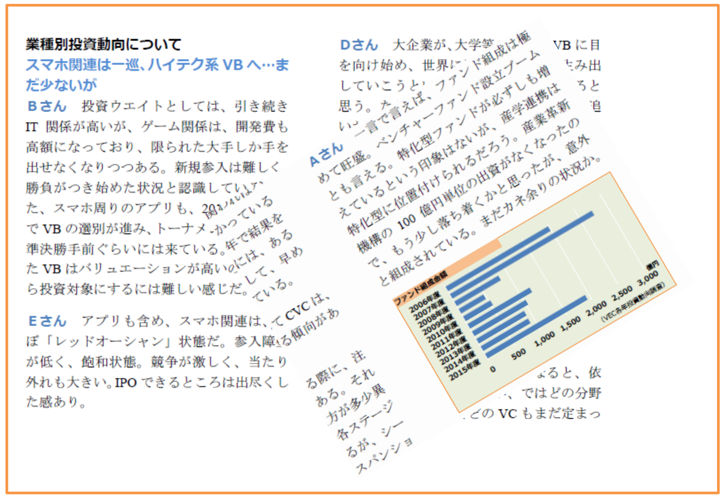
投資動向調査の結果
日本のベンチャーキャピタルの投資の動向を、投資先業種・ステージ・地域等のさまざまな角度から集計したデータを図表として掲載。



ファンド状況調査の結果
日本のベンチャー投資ファンドの規模やパフォーマンスを集計。
重点業種、重点ステージ等属性ごとの集計や、開始年ごとのIRR（収益率）、ほかのオルタナティブ投資との比較データ等を掲載。



覆面座談会：ベンチャーキャピタル関係者は語る
ヒアリング調査の結果を基に、座談会風に記事を構成。
ベンチャー投資の"いま"を生々しく解説。

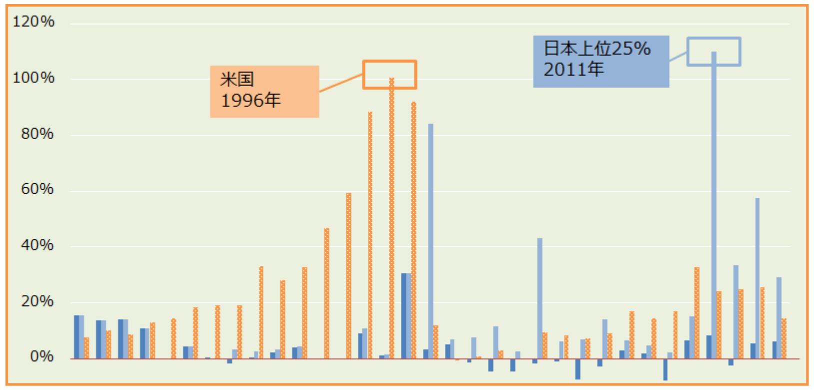

業種別投資動向について
スマホ関連は一巡、ハイテク系 VB へ…まだ少ないが

Bさん　投資ウエイトとしては、引き続き IT 関係が高いが、ゲーム関係は、開発費も高額になっており、限られた大手しか手を出せなくなりつつある。新規参入は難しく勝負がつき始めた状況と認識してい

Eさん　アプリも含め、スマホ関連は、ほぼ「レッドオーシャン」状態だ。参入障壁が低く、飽和状態。競争が激しく、当たり外れも大きい。IPO できるところは出尽くした感あり。

Aさん　一言で言えば、ファンド組成は極めて旺盛。ベンチャーファンド設立ブームとも言える。特化型ファンドが必ずしも増えているという印象はないが、産学連携は特化型に位置付けられるだろう。産業革新機構の 100 億円単位の出資がなくなったので、もう少し落ち着くかと思ったが、意外と組成されている。まだカネ余りの状況か。

日米のファンドパフォーマンス比較
日本とアメリカのファンドパフォーマンスの推移を比較。



ベンチャー白書2016の入手方法